

水害時の感染症対策と消毒方法

台風等により家屋が浸水すると、細菌やカビが繁殖しやすくなり、食中毒や感染症にかかるおそれがあります。通常は、水道水による洗浄と乾燥させる対応で十分ですが、下水道から逆流した汚水が混入しているおそれがある場合は、消毒が必要となることがあります。

清掃作業、消毒を行う際には、手袋・マスクを着用するなど、作業時の健康管理にもご留意ください。

《床上浸水したとき》

- (1) 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- (2) 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか水拭きするなどしてよく乾かしてください。
- (3) 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れを洗い流してください。
- (4) 消毒薬を薄めた液を浸した布などで拭き、よく乾燥させてください。

《床下浸水したとき》

- (1) 床下や家の周辺にある不要物や汚泥などを片付けてください。
- (2) 床下に水が溜まっている場合は、雑巾等で吸水し、扇風機等で換気し、よく乾かしてください。
- (3) 可能なところは水で洗い流してください。

《食中毒・感染症の予防》

- (1) 水道等は、安全と衛生を点検、確認してから使用してください。
- (2) 水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品はできるだけ廃棄してください。
- (3) 吐き気や腹痛などからだに異常を感じたら、早めに医療機関を受診してください。
- (4) 食事の前や排便の後などは、しっかりと手を洗ってください。



作業中はマスクを



作業後は手洗いを

《消毒方法について》

消毒薬は、薄めて（希釈）使用するものがあります。薬液の濃度や用法など使用上の注意事項を確認してから使用しましょう。

対象	消毒薬	使用方法
手指	塩化ベンザルコニウム （逆性石けん）	石けんで手洗いし、十分すすいだ後、薬液の中で手をもみ洗います。
	速乾性手指消毒薬	適量を手に取り、ムラなく乾くまで擦り込む。
食器・衣類	次亜塩素酸ナトリウム （家庭用塩素系漂白剤でも可）	汚れを落とした後、薬液の中に浸し乾かす。 ●製品によっては、水ですすぎ薬液を落とす。 ●熱湯で1分以上煮沸も可
床上（屋内） ※汚水に浸かった家具・床など	塩化ベンザルコニウム （逆性石けん）	汚れを落としてから、薄めた薬液を浸した布などで拭く。噴霧の場合は、濡れる程度に噴霧しそのまま乾かす。
床下（屋外） ※汚水が付着した壁や下水やし尿槽があふれた場所	●塩化ベンザルコニウム （逆性石けん） ●クレゾール石けん液	壁などは汚れを落とした後、薄めた薬液を浸した布などで拭く。家の周りには、じょうろや噴霧器などで濡れるように薬液を撒く。

※感染症対策・消毒方法の詳細については、市ホームページをご覧ください。

道路や家屋周辺の消毒についてのご相談は、各区役所暮らし応援室へ

※厚生労働省では、清掃と乾燥を行えば屋外(庭、床下)の消毒は原則不要としています。

※消毒の実施は、道路と家屋周辺の一部のみです。屋内の消毒は行えません。

※道路等の消毒の実施にあたっては、対応に日数を要します。予めご了承ください。

▶西区暮らし応援室	048-620-2626	▶北区暮らし応援室	048-669-6026
▶大宮区暮らし応援室	048-646-3027	▶見沼区暮らし応援室	048-681-6026
▶中央区暮らし応援室	048-840-6026	▶桜区暮らし応援室	048-856-6136
▶浦和区暮らし応援室	048-829-6052	▶南区暮らし応援室	048-844-7136
▶緑区暮らし応援室	048-712-1137	▶岩槻区暮らし応援室	048-790-0128

感染症や健康についてのご相談は各区役所保健センターへ

▶西区保健センター	048-620-2700	▶北区保健センター	048-669-6100
▶大宮区保健センター	048-646-3100	▶見沼区保健センター	048-681-6100
▶中央区保健センター	048-853-5251	▶桜区保健センター	048-856-6200
▶浦和区保健センター	048-824-3971	▶南区保健センター	048-844-7200
▶緑区保健センター	048-712-1200	▶岩槻区保健センター	048-790-0222
●さいたま市保健所	疾病予防対策課		048-840-2220